

種やドライフラワーを使った万華鏡

作成者：社団法人 フラワーサイエティ

■ 対象者・人数：小学生20名程度（1テーブル4人）

■ 所要時間：60分程度

■ 指導者・アシスタント人数：指導者1名

・キット使用の場合：アシスタント1～2名

・手作りの場合：アシスタント各テーブルに1名

■ 実施場所：学校、イベントワークショップ

■ 資材

手作りの場合

・筒＝チョコレートなどが入ってる筒（もしくはラップなどの芯）

・反射板＝万華鏡用プラスチックミラー

* なければ厚さ0.5mmの紙3枚にアルミテープを貼る事で代用できる

・具材入れ＝蓋つきの容器、ハンドクリームなどの空き容器（半透明）

・両面テープ（包装紙を貼りつける）

・マスキングテープかビニールテープ（具材入れを固定する）

・プラスチック板（硬質）丸形1枚

・ボンド ・ボンドを入れるアルミカップ ・つまようじ

市販キットを用いる場合

・万華鏡キット（1個250円程で購入できる）

・筒に巻く紙（テープやシールでもいい）

・カラフルなビーズやホログラム・スパンコールなど

・のり ・小袋（具材を入れる） ・ペン

■ 花材

・種子やゴマなど

・ドライフラワーの葉や茎（大きいものは細かくカットする）、輪切りのタカノツメ

・ブリザーブの花びらや茎

・ハーブのポプリなども使用出来る



【指導内容と目的】

- ・どんな物が使われているのか、種には其々名前がついていて、どんな花が咲くのかを、子ども達の好きな工作を通して興味を持ってもらう。
- ・普段見ている植物や種が、鏡の世界ではどの様に見えるのか、制作する過程で考えて貰う。
- ・使用した花の種やドライフラワーなどの名前を覚えて貰い、各家庭に持ち帰ったあと、親や家族に話をしたりコミュニケーションの一つとなるとよい。

【対象者への配慮】

- ・戸外での使用や、歩きながらの使用は危険なので、室内で座って使用するよう伝える。
- ・見本は、必ず作って子ども達に見せることで興味を最初に持ってもらう。
- ・ワークショップでは参加する子どもの年齢は、さまざま、小さな子どももいるので、ハサミを使う作業は出来るだけ省き、葉や茎を切る時も乾燥されているので、手で切る。ハサミは指導者、アシスタントが持つ。（キットの場合）
- ・目に当てて見る物なので、きちんとキャップがしまっているか、安全面には気をつける。
- ・蕎麦など、アレルギーが予想される物は、種子であっても使用しない。
- ・花材は十分乾燥され、清潔な物を用いる。
- ・市販キットは、ネット販売などで安価にて、色々なタイプが販売されている。
- ・キットでも、具材をいれる蓋に小さな穴が開いている場合があるので、その際は透明なテープで穴を塞いでおく。
- ・種や茎に色つけた物を使っても良い。ただし、種子が黒っぽいので明るい色を用いるときれいに仕上がる。
- ・面積の大きな物は、具材が回転しなくなるので、小さくカットする。
- ・フウセンカズラやスイートピーの種などはラメペンなどで色を塗っても面白い。
- ・入れすぎている子は声をかけてあげ減らす。あくまで本人の意思を尊重する。
- ・高齢者施設などで行う場合は、千代紙が大変喜ばれる。
子どもで時間があれば、筒に花の絵を描いたり、シールを貼ったりも良い。
（万華鏡を回す時に、手が汚れるのでクレヨンを使用しないほうが良い）
- ・筒の外側に貼るものは紙の他にマスキングテープやシールなど、自分で創意工夫してもらうとより良い。

① 事前の準備

主催者側との打ち合わせ時

- ・ テーブル、および椅子の数、対象者以外の保護者が座る椅子も何脚か必要である旨伝える。
- ・ 花育時間、搬入経路、何分前に会場セットの時間が出来るかを確認。

時間が短いワークショップの場合

- ・ 低学年の場合や高齢者施設、ワークショップの時間が限られてる場合、予め鏡を三角形になるようテープで貼り付けておく。
- ・ プラスチック板（硬質）で筒のサイズに合わせて底を切って用意しておく
- ・ 筒に巻く包装紙や千代紙は予め裏に両面テープをつけて配布すると良い。

■ 当日までにする準備

- ・ ビーズなどは100円ショップなどで細粒、明るい色の物を購入し、スパンコールは容器にもよるが3個程 ビーズは10～20粒程あればよい。
- ・ 清潔で乾燥した花、種、葉、茎などを、1人分ずつ小袋に入れて配布する。
 - *長い物は2センチほどに切っておく。茎も材料の一つになる。
 - *当日、入っている物全てを使わなくても良い。少ない方がよく回転する。
- ・ 作り方の解説書に使用する種や花、葉の説明は、子どもにもわかりやすい内容で準備する。クイズに使う等するときは、よりわかりやすく工夫する。
 - *イベントの趣旨や地域等、TPOに応じて、実践者のアイディアを活かして貰いたい。

■ 当日材料以外に持参していく物

- ・ 受付用具、新聞紙、掃除具、見本数点、解説用写真、予備の花材、持ち帰りの袋
- ・ 市販の万華鏡キットを使わない場合、具材入れに使う部分は、目の保護の為、透明タイプは避け、半透明タイプにする事。透明容器の場合、底に色を塗っておく。
- ・ また安全を実践者が十分確認した上で行うこと。



② 当日の流れ

開講開始30分前には準備 10分前には完全に終わるようにする。
会場準備（事前準備が出来ていれば10分～20分で出来る）

- 1) 机をグループごとにする。
- 2) 新聞を敷く。
- 3) 各材料中身の確認しながら机の上に準備。
- 4) はさみやのりはイベントの際はテーブル中央において はさみなどは数を数えておく。
*持っていくハサミは先の丸くなった子ども用ハサミを準備。

■ 10:00～開講

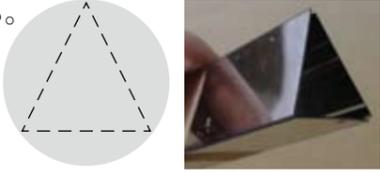
手作りで行う場合

所要時間は1時間半～2時間は必要

簡単な挨拶と今日は何をするのかを改めて紹介。

- 1) 材料にはまだ触れないようにしてもらい、今日使用する植物（種や花など）の説明をする。時間に余裕があれば レジュメに使用植物の種と花それぞれの説明を書き入れて、花の写真を持っていき（もしくは実物の花）、どの種がどんな花を咲かせるかなど、子ども達にクイズのような事をしながら、説明していく。
- 2) 手順の説明
チョコレートの空き容器を使う場合

| | |
|---|---|
| <p>① チョコレートの容器（大）の場合 筒の中を軽くティッシュ等でよく拭きます。</p> | <p>② 筒の天と地の部分を外から、中に向けて押して、外します。</p>  |
| <p>③ プラスチック板に②で外した丸い底をあて、マジックで型をとる。</p>  | <p>④ ハサミで線通りに切る。 ここでサイズ間違えると上手く入らないので、③で使った紙とよく重ね合わせて確認。 *低学年は先に作っておくとよい。</p>  |

| | |
|--|---|
| <p>⑤ 筒の蓋に最初についていた紙底に、のぞき穴をあけ、④で切ったプラ板を少量のボンドで貼りあわせる。(乾くまで置いておく)</p> | <p>⑥ 反射板を3枚貼り合わせて三角形にしておく。筒の大きさに対して正三角形が入るようにする。</p>  |
| <p>⑦ 具材入れに使う容器(今回はネイルパーツ収納ケース、タワーケースともいう)に具材を子ども達に入れて貰います。</p>  | <p>⑧ 具材を入れた後に開けられないように蓋ボンドを蓋の周り少量につけてから閉める。</p>  |
| <p>⑨ 筒の胴体底部から⑧の容器を1cm程入れる。</p>  | <p>⑩ ⑨の接続部分を念の為にマスキングテープで巻いてとめておく。</p>  |
| <p>⑪ 筒の蓋の口(丸い膨らみの部分)にボンドを爪楊枝などの先に少量、2、3か所だけつける。</p>  | <p>⑫ ⑤で貼りあわせた物を筒の蓋の中から初めに底板があった場所まで押し入れる。</p>  |
| <p>⑬ 筒の胴体に三角形になった反射板をいれ、口の部分にボンドを数か所つけてから、⑪の蓋をする。</p>  | <p>⑭ 予め紙に貼っておいた両面テープをはがして、転がすように貼り付ける。</p>  |

- * お菓子の容器はパッケージが可愛いので、紙を貼る手間を省いてもよい。
- * 容器が半透明でない場合、後から底部分に色を塗る。
- * ラップ芯などを使われる時は、具材入れの容器と大きさ、反射板の幅を確認しておきましょう。また、のぞき窓は厚紙に穴をあけて、穴をプラ板で塞ぎ、外から筒の口に貼り付けましょう。

■ 10:00～開講

キットの場合

- 1) 材料にはまだ触れないようにして、今日使用する植物(種や花など)の説明をする。時間に余裕があればレジュメに使用植物の種と花それぞれの説明を書き入れて、花の写真を持っていき(もしくは実物の花)、どの種がどんな花を咲かせるかなど、子ども達にクイズのような事をしながら、説明していく。
- 2) 手順の説明
- 3) 鏡の説明をし、鏡に指紋をつけないよう注意して、テープで3枚の鏡を三角形に貼り付ける。

- 4) 紙の裏にのりをつけて筒に貼る。
- 5) 筒に鏡をいれておく。



- 6) 具材入れに、種子、花びらなど大きさ、花弁を一枚ずつにしたり、茎や葉を小さく切って具材を入れて蓋をする。(全部使わなくてもいいよと声をかけておく)

- * 蓋がきちんと閉まっているか、良く確認する。
- * ここで一度、筒を覗いて具材の量のチェックをするとよい。

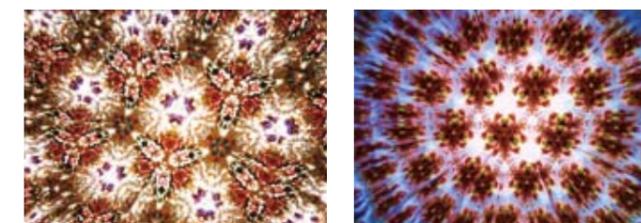


- 7) 筒に具材入れをきちんとはめる。中で動いてしまわないか確認。
* 慌ててしまう子や、うまくできない子もいるので、周りをよく見渡す。



- 8) 具材と反対のキャップを、しっかりはめたら完成
- 9) みんなで片づけ **終了11:00**

- * 低学年の子どもを対象とする際は、筒のまわりに紙を貼らず、シールなどで簡単にできるように工夫するとよい。
- * 30分間のワークショップの場合、事前準備(鏡の貼り合わせ、紙裏の両面テープなど)をしておくとうい。



■ 配布資料



この花はスイートピーです。



花がさくと、いいおりがすると
よるこばれています
花がさいたあとにできるたねは どれでしょう。
しゃしんの中からさがしてみよう！

タネも かたちがちがうんだよ♪



1. ほそくてながい
これでしょうか？



2. ま〜〜るいコロコロしている
これかな？



3. どこかでみたことあるような？
これでしょうか？

★★★今日まんげきょうに使うタネ、花、はっぱなど★★★
スイートピー、むぎわらぎく、かすみ草、カーネーション、ごま、ライスフラワーです。
ちょっとずつを まんげきょうの カップにいれていきます。

*まんげきょうは、ふりまわしたりしてはいけません。 おうちの中でのそいでみてくださいね。
おうちのひとにもドンドンみせてあげてね。

